

見本

（令和三年度）国語解答用紙

カタカナで記入すること

氏名

受験番号

必ず2か所に受験番号を記入すること

採点欄

一

問一	①	貢献
問二	①	f
	②	頻繁
	②	i
	③	ちよつりつ
	③	e
	④	めいりよう
	④	j
	⑤	ずいはん
	⑤	h
問三	筆者が述べる、「死が必然であること」の理解における「他者の死→自己の死」と「自己の死→他者の死」というプロセスの差異を正しく把握できたかを問うている。	
問四	他者の死・自己の死・生の限界・死後の世界といったキーワードを理解できているかを問うている。	
問五	「余剰」の辞書的な意味と、この文章における意味とを正しく把握できているかを問うている。	
問六	生物全体に言える生と死についての理解を問うている。	

二

問一	筆者の言うマニエール敬語（本文のキーワードとなる）のどついった特性を捉えているかを問うている。	
問二	「こ」でいうマニエール敬語が学校で習う敬語とは異なる「こ」が把握できているかを問うている。	
問三	「ほかす」表現方法が実際にどのような言語現象をさすのかを問うている。	
問四	ア 過去	イ 完了
問五	筆者のエピソードから、マニエール敬語が浸透しているといふことにつなげて理解できているかを問うている。	
問六	文章全体を通して筆者の敬語の変化に対する捉え方を問うものである。	

三

問一	A	恨めしく思つてはならないぞ
	B	どうして人が気付こうか
	C	月日がむなしく経つように思えるだろう
問二	誰が	後の展開にも関わる行動や、そのきっかけとなった出来事を読み取ることができているかを問うている。
	行動と	
	その説	
	明	
問三	誰が	誰に対して
	説明	姉の家という嘘を言つても良いか許可を求める理由や人間関係が理解できているかを問うている。
問四	本話の話の流れや終着点を読み取り、理解できているかを問うている。	

採点欄

採点欄

採点欄